

大泉図書館だより

令和8年1月6日 第115号



大泉図書館キャラクター
おおちゃん いずみん

大泉図書館からのお知らせ

展示期間：12月23日～1月25日(雑誌架)

大泉図書館開館45周年記念事業

パネル写真展

展示協力：大泉学園緑町会

大泉図書館開館45周年記念事業の関連展示として、大泉学園緑町会の協力で写真展を12/23から1/25まで雑誌架の展示スペースにて開催しています。昔懐かしい、近隣の写真パネルをたくさん展示しています。ぜひ、ご覧ください。



12月の「浜中文庫を楽しむ会」で紹介された1冊

「The silver christmas tree

(ぎんいろのクリスマスツリー)」

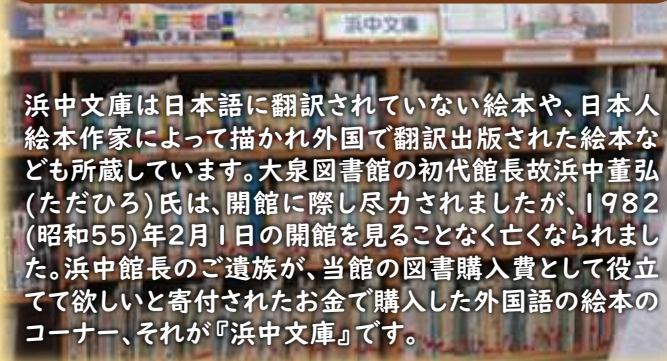
By Pat Hutchins

リスがクリスマスツリーにヒイラギや赤い木の実、松ぼっくり等を飾り終える頃には、辺りはずっかり暗くなり、美しく飾られたツリーの真上に銀色の星が現れ、ツリーは銀色に美しく輝いていました。「そうだ、これを仲間たちへのクリスマスプレゼントにしよう！」とリスは大喜び。

しかし、クリスマスの朝、リスが目を開くとその美しい星は、消えてなくなっていました。さて、いったい誰が持って行ってしまったのでしょうか…？

現在の会員数は10名程。毎月、大泉図書館の会議室を利用して活動しています。毎回、浜中文庫コーナーの中から作品を選び原文と翻訳、選定理由を発表していきながら作品を味わい深く知るところを目的とした会です。

浜中文庫は日本語に翻訳されていない絵本や、日本人絵本作家によって描かれ外国で翻訳出版された絵本なども所蔵しています。大泉図書館の初代館長故浜中董弘(ただひろ)氏は、開館に際し尽力されましたが、1982(昭和55)年2月1日の開館を見ることなく亡くなりました。浜中館長のご遺族が、当館の図書購入費として役立てて欲しいと寄付されたお金で購入した外国語の絵本のコーナー、それが『浜中文庫』です。





図書館員おすすめ!!



一般書



『鳥たちが彩る日本史 武将・文人と交わる8種類の鳥』大橋弘一/著 山と溪谷社 請求記号488
清少納言や源氏など、歴史上の人物と関わりのあった鳥のエピソードを紹介しています。著者が野鳥写真家のため名前の由来や生態も詳しく解説されており、歴史だけではなく鳥の魅力についても知ることができます。

(M. A)

一般書



『風起 三国密偵伝』馬伯庸/著 齊藤正高/訳 早川書房 請求記号F7
中国の人気作家による三国志秘話。お馴染み諸葛孔明も登場しますが、主役は名も無き「スパイ」たち。数に劣る蜀は諜報戦を重視し、敵国魏に密偵を送り込むが…。歴史の裏側で戦う彼らを圧倒的な疾走感で描きます。

(N. M)

青少年



『13歳からの哲学的思考』

予測不能な未来を生き抜くための最強スキル! 星友啓/著 ソシム 請求記号Y104

AI、SNS、情報過多の未曾有の新時代を生き抜くには「考え続ける力」が必要だった! 正解を知る力ではなく、新たな視点に至る試み=「哲学的思考」を12のテーマで体感しトレーニングする本書。哲学的な心の営みで能動的な自分にシフトチェンジ!

(Y. Y)

児童書



『パンダ はみがきコンサート』いりやまさとし/作 講談社 請求記号EB4
たいそうシリーズでおなじみのパンダさん、今度は歯ブラシを手にコンサートを始めました。きれいにするのはグランドピアノ、さあ、どんな音が聞こえてくるでしょう。歯みがきが苦手な子どもに、ぜひ読んであげてください。

(Y. T)

ミニライブラリーニュース(12/23~1/25)より抜粋

オリジナル版は1階男子・女子トイレにてご覧いただけます

テーマ『四季折々』

『歌声は贈りもの』白井明大/文 辻恵子/絵 福音館書店 請求記号JJ
幼いころに誰もが聞いたことのある懐かしい童謡や、わらべうたを二十四節気に沿って歌にまつわる著者の思い出がエッセイとともに綴られています。長い歳月を経て親しまれている歌には、知っているようで知らなかった言葉の意味や情景が満ちています。

『四季彩図鑑 空と氷と花の名前』北山建穂/著 みらいパブリッシング 請求記号814
「空」「雪」「氷」「花」「鳥」に関するやまとことばを日本の伝統色を中心に美しい写真とともに紹介しています。中でも、写真家でもある著者が在住する栃木県日光市の冬景色の写真は必見です。著者による繊細なイラストも楽しめます。

テーマ『大河は続く〜弟はつらいよ〜』

『羽柴秀長 秀吉の天下を支えた弟』柴裕之/著 KADOKAWA 請求記号210.4
豊臣秀吉そして豊臣政権を陰で支えてきたのが、弟・羽柴(豊臣)秀長。彼の生涯を知るなら、この一冊!! ドラマの時代考証を担当する著者が、史料と最新研究で温厚で実直といわれる秀長の人物像に迫ります。

『秀吉と利休』野上彌生子/著 中央公論新社 請求記号B/カ
時の権力者・豊臣秀吉にとって、茶道の師であり茶室では相談相手でもあった千利休は、彼の心の思うままにならない唯一の存在でもありました。この二人に生じる確執と、やがて訪れる悲劇の物語です。日常の情景も心理描写もこまやかに描かれており、歴史小説の傑作として改めておすすめします。

※ミニライブラリーニュース:大泉図書館の図書館員が決めたテーマに基づき、毎月2冊ずつ大泉所蔵の本を紹介しています。



1月の企画展示



展示期間 12月23日~1月25日

一般・特集「新しい学びが新しい扉を開く」

“学び”に関連する資料を小説、専門書、歴史など幅広いジャンルから集めて展示します。

生活・くらしの特集「片づけたい!」

何かと面倒な人生をスッキリさせるヒントとなるような本を集めて展示します。

地域展示「大人のための絵本の会50回記念展示」

大人のための絵本の会第50回を記念し、これまでに参加者が作成した絵本紹介POPの中からスタッフが選んだベストな50枚をその絵本と共に展示します。

浜中文庫展示「Dress Up(おきがえ)」

おしゃれな服にきがえる絵本を浜中文庫の中から選んでご紹介します。

青少年・特集「物語を始める」

物語を創るのに役立つ本を展示します。

児童・特集「ともだち・いろいろ」

色々なともだちに関する本を集めて展示します。

視聴覚・特集「CHILL」

ヒーリングミュージック・アンビエント等のリラックスできる音楽や作業用・就寝用のCDを展示します。



※展示資料は、貸出しできますので、お気軽に手に取ってご覧ください。

発行:練馬区立大泉図書館

指定管理者:株式会社図書館流通センター

令和8年1月6日発行 第115号

270